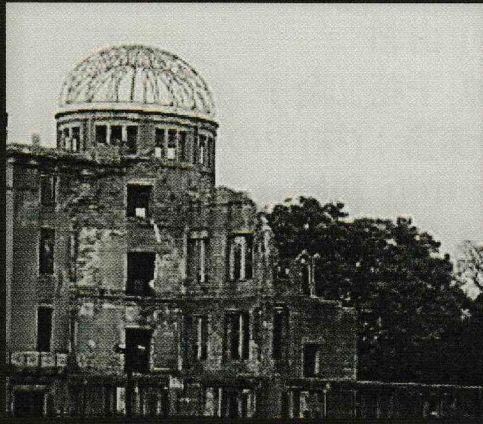


# 父と暮せば

脚本：井上ひさし

こまつ座で1994年に初演された作品。  
第2回読売演劇大賞優秀作品賞受賞作  
以後、こまつ座での再演はもちろん  
各地で上演されている。  
書籍は1998年に新潮社より刊行され、  
世界各国の言語に翻訳されている。  
2004年には映画化もされた。



|      |                                                                              |
|------|------------------------------------------------------------------------------|
| 演出   | 横山 由和                                                                        |
| 舞台監督 | 中原 和樹 (もんもちプロジェクト)                                                           |
| 舞台美術 | 矢野 節 (株式会社やの舞台美術)                                                            |
| 照明   | 矢野 郁子 (株式会社やの舞台美術)                                                           |
| 音響   | 佐川 幸久                                                                        |
| 編集   | 青木 紀子                                                                        |
| 撮影   | 大野 真代                                                                        |
| 制作   | 江原 美千代                                                                       |
| 衣装補佐 | 竹中 タケ子                                                                       |
| 企画製作 | Chika.E Office                                                               |
| 主催   | 江原 千花                                                                        |
| 協賛   | 株式会社井上商店・株式会社浅田館・いとう整形外科                                                     |
| 後援   | 下関市・下関市教育委員会・(公財)下関市文化振興財団<br>(公財)熊谷美術館・梅光学院同窓会<br>KRY山口放送・山口新聞社・COME ON! FM |

「うちはしあわせになってはいけんのじゃ。  
じゃけえもうなんもいわんでつかあさい」

物語の舞台は戦後の広島。  
戦火を生き延びた美津江は、図書館で働きながら、  
土地に伝わる昔話を語り継いでいた。  
戦時中の資料を求めて図書館にやってくる青年に恋心を寄せつつも、  
「自分が幸せになってはいけない」と気持ちを押し込める美津江。  
雷に怯え、原爆で負った左腕の傷みが、時々彼女を襲う。

苦悩する美津江に、時に優しく、  
時に熱を込めて語りかけるのは、父・竹造。  
町は戦火に焼かれようとも、人の命は奪われようとも、  
大事な何かが、確かに残っていた。

「おまいは生きとる」

戦争とは。親子とは。そして、生きるとは——。  
戦争の時代を生きた親子と、深い愛の物語。



このリーフレットを手にとってくださっている貴方は  
演劇に、どんなイメージを持っているでしょうか。  
私にとって舞台は、生きる事のすばらしさを感じさせてくれた  
特別な場所であり、嬉しいことも悲しいことも、悩ましいことも  
すべてを還元できる場所。未知の人生に出会い、自分の人生を  
ふり返り、他者と共有する演劇は、いつも新しい気付きをくれます。  
大好きな下関で、作者・井上ひさしさんの伝えたかったことを  
そして、私は想像することしか方法を持たない、美津江の心のゆらぎを  
今の私に出来るかぎり、丁寧に、繊細に、大切に作りだして  
いまの時代に生きていく、すべての人に伝えたいです。  
素晴らしい座組の皆様とともに、演劇のちから、舞台の魅力  
をしっかり感じていただけるよう、準備してまいります。  
ぜひ、ご観劇ください。  
江原千花

お問い合わせ

Chika.E Office (江原)

〒750-0075 山口県下関市彦島江の浦町1-9-16

Tel/Fax 083-268-1668

E-Mail [chika\\_official@oct.zaq.jp](mailto:chika_official@oct.zaq.jp)

Homepage <http://eharachika.web.fc2.com/>

会場：下関市生涯学習プラザ 小ホール



〒750-0016 山口県下関市細江町三丁目1番1号

■下関駅より徒歩約15分 / ■バス「細江町バス停」下車徒歩約5分